

作成日: 2016年09月14日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: キクスイ ロイヤルトップスター

製品番号(SDS NO): 22RYTSU-1

供給者情報詳細

供給者: 菊水化学工業株式会社

住所: 愛知県名古屋市中区錦2丁目19番25号

担当部署: 汎用塗料事業本部 生産部

電話番号: 058-371-5301

### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

呼吸器感作性: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 区分 1

発がん性: 区分 2

生殖毒性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器、神経、肝臓、腎臓)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(呼吸器、神経、血液)

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれ

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化管法政令番号
無晶シリカ	0 - 5	7631-86-9	1-548	-
酸化チタン(IV)	0 - 25	13463-67-7	1-558	-
水酸化鉄(III)	0 - 25	20344-49-4	-	-
酸化第二鉄	0 - 25	1309-37-1	1-357	-
カーボンブラック	0 - 5	1333-86-4	-	-
C.I. ピグメントグリーン 7	0 - 5	1328-53-6	5-3315	-
C.I. ピグメントグリーン 36	0 - 5	14302-13-7	5-3318	-
バナジン酸ビスマス	0 - 7	14059-33-7	1-1228	1-321
バナジウム	0 - 1	7440-62-2	-	1-321
ミネラルスピリット	5 - 10	-	-	-
低沸点芳香族ナフサ	10 - 15	64742-95-6	9-1691;9-16 98;9-1700;9- 2578	-
高沸点芳香族ナフサ	5 - 10	64742-94-5	9-1691;9-17 00;9-1702	-
キシレン(異性体混合物)	1.6	1330-20-7	3-3;3-60	1-080
エチルベンゼン	1.2	100-41-4	3-28;3-60	1-053
キュメン	0.1 - 1	98-82-8	3-22	1-083
1,3,5-トリメチルベンゼン	2.7	108-67-8	3-7;3-3427	1-297
ナフタレン	0.1 - 1	91-20-3	4-311	1-302
1,2,4-トリメチルベンゼン	9.4	95-63-6	3-7;3-3427	1-296
メタノール	0.1 - 1	67-56-1	2-201	-
エタノール	0.1 - 1	64-17-5	2-202	-
メチルイソブチルケトン	0.1 - 1	108-10-1	2-542	-
メチルエチルケトンオキシム	0.1 - 1	96-29-7	2-546	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

無晶シリカ, 酸化チタン(IV), 酸化第二鉄, カーボンブラック, C.I. ピグメントグリーン 7, C.I. ピグメントグリーン 36, 低沸点芳香族ナフサ, キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン, 1,3,5-トリメチルベンゼン, 1,2,4-トリメチルベンゼン, メタノール, エタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

無晶シリカ, 酸化チタン(IV), 酸化第二鉄, カーボンブラック, C.I. ピグメントグリーン 7, C.I. ピグメントグリーン 36, 低沸点芳香族ナフサ, キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン, キュメン, 1,3,5-トリメチルベンゼン, ナフタレン, 1,2,4-トリメチルベンゼン, メタノール, エタノール, メチルイソブチルケトン

化管法「指定化学物質」該当成分

バナジン酸ビスマス, バナジウム, キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン, 1,3,5-トリメチルベンゼン, 1,2,4-トリメチルベンゼン

4. 応急措置

## 応急措置の記述

### 一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。  
直ちに医師に連絡すること。

### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師の診断/手当てを受けること。

### 皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。  
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
衣類にかかった場合：服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。  
多量の水と石鹼で優しく洗う。  
多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。  
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。  
眼をこすらせてはならない。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。  
医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。

### 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

#### 不適切な消火剤

水を使用してはならない。

### 特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

適当な距離から注意して消火すること。  
関係者以外は安全な場所に退去させる。  
安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
火災の場合：安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

#### 消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。  
換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。  
適切な保護具を着用する。  
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。  
着火源を取除くとともに換気を行う。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

#### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。  
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

#### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。  
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。  
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。  
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

##### (火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。  
裸火または他の着火原に噴霧しないこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

#### 局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

#### 注意事項

皮膚に触れないようにする。  
眼に入らないようにする。  
吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。  
保護眼鏡/保護面を着用すること。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。  
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

#### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
国際/国/地方の規則に従って保管すること。  
施錠して保管すること。  
指定温度以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。

##### 避けるべき保管条件

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。  
飲食物、動物用飼料から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

(エチルベンゼン)  
作業環境評価基準(2012) <= 20 ppm  
(メチルイソブチルケトン)  
作業環境評価基準(2012) <= 20 ppm  
(キシレン(異性体混合物))  
作業環境評価基準(2004) <= 50 ppm  
(メタノール)  
作業環境評価基準(1995) <= 200 ppm  
(ナフタレン)  
作業環境評価基準(2015) <= 10 ppm

#### 許容濃度

(エチルベンゼン)  
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
(メチルイソブチルケトン)  
日本産衛学会(1984) 50ppm; 200mg/m<sup>3</sup>  
(1,3,5-トリメチルベンゼン)  
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>  
(キシレン(異性体混合物))  
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
(酸化チタン(IV))  
日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>  
(メタノール)  
日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(1,2,4-トリメチルベンゼン)  
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>  
(エチルベンゼン)  
ACGIH(2010) TWA: 20ppm (上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)  
(メチルイソブチルケトン)  
ACGIH(2009) TWA: 20ppm  
STEL: 75ppm (上気道刺激; めまい; 頭痛)  
(酸化第二鉄)  
ACGIH(2005) TWA: 5mg/m<sup>3</sup>(R) (じん肺)  
(キシレン(異性体混合物))  
ACGIH(1992) TWA: 100ppm  
STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)  
(カーボンブラック)  
ACGIH(2010) TWA: 3mg/m<sup>3</sup>(I) (気管支炎)  
(酸化チタン(IV))  
ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)  
(エタノール)  
ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)  
(メタノール)  
ACGIH(2008) TWA: 200ppm  
STEL: 250ppm (頭痛; 眼障害; めまい; 吐き気)  
(ナフタレン)  
ACGIH(2013) TWA: 10ppm (上気道刺激; 白内障; 溶血性貧血)  
(キュメン)

ACGIH(1997) TWA: 50ppm (眼, 皮膚および上気道刺激; 中枢神経系損傷)  
注釈(症状、摂取経路など)  
(メタノール)  
皮膚吸収  
(ナフタレン)  
皮膚吸収

#### ばく露防止

##### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。  
手洗い/洗顔設備を設ける。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

##### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。  
妊娠中/授乳期中は接触を避けること。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
休憩、終業時は手を洗う。  
休憩、終業時はうがいする。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

### 物理的状態

形状：粘稠液体

臭い：溶剤臭

pH：適用外

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：149 - 180°C

引火点：35.0°C

自然発火温度：288°C

---

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

---

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

### 急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500 mg/kg (EHC 186, 1996)

(メチルイソブチルケトン)

rat LD50=2080 mg/kg (ACGIH, 2010)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 rat LD50=3500 - 8800 mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)  
 (メタノール)  
 human LD50=ca. 1400 mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)  
 (ナフタレン)  
 rat LD50=490 - 1800 mg/kg (Patty 5th, 2001)  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン)  
 female rat LD50=5000 mg/kg (RTECS, 2008)  
 (メチルエチルケトンオキシム)  
 male rat LD50=930 mg/kg (SIDS, 2008)  
 (キュメン)  
 rat LD50 =2700 mg/kg (EU-RAR, 2001)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]  
 (キシレン(異性体混合物))  
 rabbit LD50=1700 mg/kg (EPA Pesticide, 2005)  
 (高沸点芳香族ナフサ)  
 rat LD50 =4100 mg/kg (EHC 20, 1982)  
 (メタノール)  
 区分外 rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOTvol.16, 2001)  
 (メチルエチルケトンオキシム)  
 rabbit LD50=1000 mg/kg (SIDS (J), 2008)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン)  
 vapor : rat LC50=4000 ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 vapor : rat LC50=8.2 mg/L/4hr (NTP TR 538, 2007)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 vapor : rat LC50=6350 - 6700 ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)  
 (メタノール)  
 区分外 vapor :rat LC50>31500 ppm/4hr (DFGOTvol.16, 2001)  
 (キュメン)  
 vapor : rat LC50=2000 ppm/4hr (DFGMAK-Doc.13, 1999)

労働基準法: 疾病化学物質

キシレン(異性体混合物); メタノール; パナジン酸ビスマス; パナジウム

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 ラビット 中等度から重度 (NITE初期リスク評価書, 2008)  
 (酸化第二鉄)  
 ヒト 中等度の刺激性 (ICSC(J), 2004et al)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)  
 (高沸点芳香族ナフサ)  
 ヒト/ラビット 中等度の刺激性 (EHC 20, 1982et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン)  
 ラビット 軽度の刺激性 (EHC 186, 1996)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 ラビット 7日以内に回復した (ECETOC TR48, 1992)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2008)  
 (酸化第二鉄)  
 ヒト 腐食性 (IUCLID, 2000)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)  
 (酸化チタン(IV))  
 ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)  
 (エタノール)  
 ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)  
 (高沸点芳香族ナフサ)  
 ラビット 中等度の刺激性 (EHC 20, 1982)  
 (メタノール)  
 ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)  
 (無晶シリカ)  
 ラビット 回復性の眼刺激性 (SIDS, 2006)  
 (ナフタレン)  
 ラビット 7日以内に回復 (ATSDR, 2003)  
 (メチルエチルケトンオキシム)  
 ラビット 刺激性から強い刺激性 (IUCLID, 2000)  
 (キュメン)  
 ラビット 5日以内に回復 (ACGIH, 2001)

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]  
 (ナフタレン) cat.1; human : DFGOT vol.11, 1998  
 (メチルエチルケトンオキシム) cat.1; IUCLID, 2000

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン)  
 IARC (2000) 2B et al  
 (カーボンブラック)  
 IARC (93, 2010) Gr.2B et al  
 (酸化チタン(IV))  
 IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径10-50nm Gr.2B  
 (エタノール)  
 ACGIH 7th, 2012; IARC, 2010  
 (無晶シリカ)  
 ECETOC JACC No. 51, 2006  
 (エチルベンゼン)  
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (メチルイソブチルケトン)  
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (酸化第二鉄)  
 IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (キシレン(異性体混合物))  
 IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
 (カーボンブラック)  
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (酸化チタン(IV))  
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
 (エタノール)  
 IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある



(無晶シリカ)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(ナフタレン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キュメン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(カーボンブラック)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(エタノール)

ACGIH-A3(2008): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(酸化第二鉄)

ACGIH-A4(2005): ヒト発がん性因子として分類できない

(メチルイソブチルケトン)

ACGIH-A3(2009): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(ナフタレン)

ACGIH-A3(2013): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(カーボンブラック)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(キュメン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(ナフタレン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(メチルイソブチルケトン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(ナフタレン)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

(メチルエチルケトンオキシム)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

(低沸点芳香族ナフサ)

EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

#### 生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物)) cat.1B; ATSDR, 2007

(エチルベンゼン) cat.1B; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014

(メタノール) cat.1B; mouse : PATTY 5th, 2001

(エタノール) cat.1A; human : PATTY 6th, 2012

#### 催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

#### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物)) 中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]  
 (無晶シリカ) 気道刺激性 ( SIDS, 2006 )  
 (酸化第二鉄) 気道刺激性 ( ICSC(J), 2004; IUCLID, 2000 )  
 (高沸点芳香族ナフサ) 気道刺激性 ( PATTY 5th, 2001 )  
 (エチルベンゼン) 気道刺激性 ( 環境省リスク評価第13巻, 2015 )  
 (キュメン) 気道刺激性 ( DFGMAK-Doc.13, 1999 )  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 ( NITE初期リスク評価書, 2008 )  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 ( ACGIH 7th, 2001 )  
 (エタノール) 気道刺激性 ( PATTY 6th, 2012 )  
 (メチルイソブチルケトン) 気道刺激性 ( PATTY 6th, 2012 )

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]  
 (高沸点芳香族ナフサ) 麻酔作用 ( PATTY 5th, 2001 )  
 (キシレン(異性体混合物)) 麻酔作用 ( NITE有害性評価書, 2008 )  
 (エチルベンゼン) 麻酔作用 ( ATSDR, 2010 )  
 (キュメン) 麻酔作用 ( EU-RAR, 2001 )  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 ( NITE初期リスク評価書, 2008 )  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 ( PATTY 5th, 2001 )  
 (メタノール) 麻酔作用 ( PATTY 5th, 2001 )  
 (エタノール) 麻酔作用 ( PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005 )  
 (メチルイソブチルケトン) 麻酔作用 ( PATTY 6th, 2012 )

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]  
 (無晶シリカ) 呼吸器、免疫系、腎臓 ( ACGIH 7th, 2006 )  
 (酸化第二鉄) 呼吸器系 ( ACGIH, 2001 )  
 (カーボンブラック) 呼吸器 ( SIDS, 2007 )  
 (キシレン(異性体混合物)) 神経系、呼吸器 ( NITE有害性評価書, 2008 )  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン) 中枢神経系、呼吸器 ( ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第11巻, 2013 )

[区分2]

[日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン) 聴覚器 ( ACGIH 7th, 2011 )  
 (1,2,4-トリメチルベンゼン) 中枢神経系、肺 ( 環境省リスク評価第6巻, 2008 )

吸引性呼吸器有害性データなし

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

---

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性  
 長期継続的影響により水生生物に毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]  
 (エチルベンゼン)  
 甲殻類(ベイシユリンブ) LC50=0.42 mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)  
 (メチルイソブチルケトン)  
 魚類(ファットヘッドミノー) LC50 = 505 mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)  
 (1,3,5-トリメチルベンゼン)  
 甲殻類(オオミジンコ) LC50=6mg/L/48hr (環境省, 2002)  
 (キシレン(異性体混合物))  
 魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(カーボンブラック)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 > 5600mg/L/24hr (SIDS, 2007)

(エタノール)

藻類 (クロレラ) EC50=1000 mg/L/96hr (SIDS, 2005)

(高沸点芳香族ナフサ)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.95mg/L/48hr (IUCLID 2000)

(メタノール)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) LC50=900.73 mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ナフタレン)

魚類 (ニジマス) LC50 = 0.77mg/L/96hr (EHC 202, 1998)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 = 6.14mg/L/48hr (IUCLID, 2000)

(メチルエチルケトンオキシム)

藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) EC50=16 mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2001)

(キュメン)

甲殻類 (ミシッドシュリンプ) LC50=1.2mg/L/96hr (CICAD18, 1999)

#### 水生毒性(長期間) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(エタノール)

甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6 mg/L/10 days (SIDS, 2005)

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC = 0.956 mg/L/7 days (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(メチルイソブチルケトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) NOEC = 57 mg/L/31 days (環境省リスク評価第6巻, 2008)

#### 水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2007)

(メチルイソブチルケトン)

1.91g/100 ml (20 C) (ICSC, 1997)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(酸化第二鉄)

溶けない (ICSC, 2004)

(カーボンブラック)

溶けない (ICSC, 2010)

(酸化チタン(IV))

溶けない (HSDB, 2004)

(エタノール)

混和する (ICSC, 2000)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)

(ナフタレン)

溶けない (ICSC, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(キュメン)

非常に溶けにくい (0.02 g/100ml, 20 C) (ICSC, 2014)

#### 残留性・分解性

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

BODによる分解度 = 4-18% (既存点検, 1977)

(エタノール)

急速分解性があり (BODによる分解度: 89% (既存点検, 1993))

(ナフタレン)

BODによる分解度: 2% (既存化学物質安全性点検データ)

(メチルエチルケトンオキシム)

BODによる分解度: 24.7% (既存点検, 1982)

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性がなく (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(メチルイソブチルケトン)

急速分解性があり (BOD分解度=84%/14 days; TOC分解度=97.1%/14 days; GC分解度=100%/14 days (通産省公報, 1975))

(キュメン)

急速分解性なし(84/449/EECによる分解度13% (EU-RAR, 2001))

(エチルベンゼン)

急速分解性がなく (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度: 0% (通産省公報, 1990))

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

BODによる分解度: 0% (既存化学物質安全性点検データ)

#### 生体蓄積性

(エタノール)

log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(ナフタレン)

log Pow=3.3 (ICSC, 2005); BCF=168(Check & Review, Japan)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.8 (ICSC, 2002)

(キュメン)

log Pow=3.66 (PHYSPROP Database, 2005)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP Database, 2005)

(メチルイソブチルケトン)

log Pow=1.38 (ICSC, 1997)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

log Pow=3.42 (ICSC, 2002); BCF=342(Check & Review, Japan)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

#### その他情報

この調査製品自体のデータは得られていない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

環境汚染を防止するために適切な容器等を使用する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

番号 : 1263

品名(国連輸送名) :

塗料又は塗料関連物質

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 3

容器等級 : III

指針番号 : 128

特別規定番号 : 163; 223; 367; A3; A72; A192

特別の安全対策

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。  
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード  
 有害液体物質(X類)  
 ナフタレン; 1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン  
 有害液体物質(Y類)  
 エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); メタノール  
 有害液体物質(Z類)  
 メチルイソブチルケトン; 酸化チタン(IV); エタノール

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
 労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等  
 エチルベンゼン; メチルイソブチルケトン

有機則 第3種有機溶剤等  
 高沸点芳香族ナフサ; 低沸点芳香族ナフサ

粉じん障害防止規則(令19号)  
 カーボンブラック

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
 名称表示危険/有害物

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); メタノール; エタノール; カーボンブラック; 酸化チタン(IV); 酸化第二鉄; 無晶シリカ; 低沸点芳香族ナフサ; C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントグリーン 36; 1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン

名称通知危険/有害物

低沸点芳香族ナフサ; エタノール; エチルベンゼン; カーボンブラック; キシレン(異性体混合物); キュメン; 酸化チタン(IV); 酸化第二鉄; 無晶シリカ; C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントグリーン 36; 1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; ナフタレン; メタノール; メチルイソブチルケトン

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)  
 危険物・引火性の物(30°C ≤ 引火点 < 65°C)

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)  
 エチルベンゼン

化学物質管理促進(PRTR)法  
 第1種指定化学物質

エチルベンゼン(1.2%); キシレン(異性体混合物)(1.6%); 1,2,4-トリメチルベンゼン(9.4%); 1,3,5-トリメチルベンゼン(2.7%); バナジン酸ビスマス(7.3%); バナジウム(1.1%)

消防法

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン; エチルベンゼン; ナフタレン; メタノール; メチルイソブチルケトン; キシレン(異性体混合物); キュメン; 1,3,5-トリメチルベンゼン

じん肺法

無晶シリカ; 酸化チタン(IV); カーボンブラック

悪臭防止法

メチルイソブチルケトン; キシレン(異性体混合物)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントグリーン 36; ナフタレン; バナジン酸ビスマス; バナジウム

特定物質(政令第10条)

メタノール

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン(異性体混合物); 酸化第二鉄; 水酸化鉄(III); C.I. ピグメントグリーン 7; C.I. ピグメントグリーン 36

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT) 2016 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
 JIS Z 7253 (2012年)  
 JIS Z 7252 (2014年)  
 2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
 Supplier's data/information

### 責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

ここに示す情報は誠意をもって作成していますが、明記があるにしても保証はありません。これ以上の情報については当社にご相談ください。

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成27年度)です。